## 貸借対照表

## 2022年6月30日現在

株式会社アルティーリ

(単位:千円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流 動 資 産	849, 035	流動負債	59, 431
現金及び預金	836, 145	買掛金	19, 586
売 掛 金	4, 086	未 払 金	12, 064
商品品	4, 117	未 払 費 用	1, 297
前 払 費 用	4,685	未 払 法 人 税 等	290
固 定 資 産	40, 387	未 払 消 費 税 等	19, 662
有 形 固 定 資 産	33, 902	前 受 金	1, 320
建物附属設備	5, 665	預り金	1, 909
工具器具備品	16, 861	リース債務	3, 300
減価償却累計額	△8, 491	固 定 負 債	15, 568
リース 資産	19, 866	リース債務(固定)	15, 568
投資その他の資産	6, 484	負 債 合 計	74, 999
敷金	6, 394	(純資産の部)	
差 入 保 証 金	90	株 主 資 本	814, 423
		資 本 金	10,000
		資 本 剰 余 金	940,000
		資 本 準 備 金	940,000
		利 益 剰 余 金	$\triangle 135,576$
		その他利益剰余金	$\triangle 135,576$
		繰越利益剰余金	$\triangle 135,576$
		(うち当期純損失)	(64, 454)
		純 資 産 合 計	814, 423
資 産 合 計	889, 422	負 債 純 資 産 合 計	889, 422

## 個別注記表

- 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記
  - (1) 資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

総平均法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)を採用 しています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 (リース資産を除く)

定率法を採用しています。ただし、建物附属設備については定額法を採用しています。 なお、主な耐用 年数は次のとおりであります。

建物附属設備8年~15年工具器具備品3年~10年

(3) その他計算書類の作成のための基本となる重要事項

リース取引の処理方法

リース期間を耐用年数とし、残価保証額を残存価格とする定額法を採用しております。

(4) 重要な収益及び費用の計上基準

当社における顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業は、プロバスケットボールクラブ「アルティーリ千葉」の運営であります。主な履行義務は、選手ユニフォーム、試合会場内看板及び公式サイトへのスポンサー企業の社名又は企業ロゴの掲載であり、当該履行義務は契約期間にわたって充足されることから、当該契約期間にわたり、収益を計上しております。

なお、主要な取引について、履行義務を充足してから対価を受領するまでの期間は概ね1ヶ月以内であり、対価の金額に重要な金融要素は含まれておりません。